一月二十三日 夕刊

休日 日曜 祭日
一ヶ月 二十五錢 郵稅十五錢 一部二錢
廣告料 一行 四十錢 場所指定 貳拾錢増
發行兼編輯印刷人 半谷政次
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

常識講座

エア、ポケットと云ふのは空氣の稀薄な低壓部のことで飛行機がこの中に這入ると浮力を失して不意な急下をなし時には數十尺も落下することがあると云ふエアはエーア(空氣)だ

平税務署下の所得税

前年と大差なさそう

殖える見込み俸給々料の方面 その他は減ると増さない

平税務署では所得税及び營業收益税等に對し目下外部の調査中であつて之れを三月末日終了後調査委員會にかけ五月末までに決定されることになつて當年の所得は田畑所得の如き近年にない米の豊作を見たるも旱害による收穫皆無百五十七町歩及び其の爲めの減收地約五百町歩と云はれてゐる上に米價安の關係で七年に於ける秋の水害免租三百二町四反歩あつたものと比較的米價の高かつた事に對算し大体に於て兩年相同額の程度でないかと豫想され個人所得は俸給給料歳費所得と稱する類に炭鑛等の景氣好轉で俸給も多少は昇り且つ賞與金も殖えたであらう結果として若干の增加と見込まれ次へで營收税は各商店にはまだ好景氣の流れところか却て前年より不況を唱ひられてゐる向もあり商業所得は減ずるとも增加の豫想がなく旁々總額に於て前年に大差ないではないかと觀られてゐる

浪江出羽神社の寶物

四百年目で還祀する

相馬郡大野村齋藤家氏神から 神刀一振で七千圓の時下

双葉郡浪江町權現堂に鎭座する同町の鎭守出羽神社は同地古往の城主標葉太郎に祀られたるもので同城主に奉祀された由緒は齋藤別當實盛六代の後裔實清が越前より下向して嗣子なく前記太郎の二男左馬その後を繼ぎ七代齋藤隆久に守られた標葉家の守護神將羽黑大權現であるが標葉左京亮清隆の嗣子隆成相馬高胤と戰つて利あらず沒落の非運を見たるも郷人神德を仰いで今日に及ぶ由緒深いながら此間文獻及び神寶を散逸して氏子等に其の記錄蒐集を努められてゐたが昨年舊十月十日の恒例浪江市に於て平町字田町三二三屋店主齋藤敏實氏が同社神輿渡御を拜するに當り神寶のあらざる故を唱ひた事から端緒を得て爾來同社の社掌及び氏子等に舊を探された結果前記隆久の後裔である齋藤氏の實家相馬郡大野村大字初野字寳倉齋藤哲氏方氏神に大權現の尊像全長二尺三寸五分　神鏡經三寸五分（裏面に五三桐に松竹寳來親子中心龜あるもの）　神刀(銘菊一文字宗國作刄渡二尺六寸五分)　鰐口(齋藤藏人實清享保十一丙午天九月十八日羽黑大權現廣奉寄進當社標葉權現當邑興利初野村萱倉に勸請し奉留と銘あるもの）

四個を奉祀されてゐる共れが同社の神寳であることを確められ前記神刀のみでも時價七千圓と稱せらるる全部を齋藤家の嗣子敏實氏によつて去月末無償還祀の紙を運ばれたが之れに感激する氏子一同は引續いて社格の昇進に奔走中であると

平町の都市計畫

二月末頃委員決定

それから一般調査資料を提供 制規の手續迄はまだく

平町に於ける都市計畫は過般縣から富安技師及び橋本技手の實地踏査ありて道路網を第一に置く各區域の複案を得たるもの〻如く都市地域には

神谷村の鹽　平窪村の下平窪　飯野村谷川瀨及び北白土　內郷村の御台境及び小島

等に及ぶものと見られてゐるが道路計畫には幹線を何れに定めたものが共れに關聯して鎌田川橋梁の位置の如き最も深き研究を要するものとされ來二月末頃までには背沼町長外町會議員から選擧される三名の同計畫地方委員それに幹事として酒井助役を加ふる地方委員に於て一般調査資料を提供した上で縣の委員會の後主務省への手續きをとることになるので制規の申請は早くて本年末頃になるであらうと

都市計畫と行政區

小島の反對は大間違

市に合併する計畫ではない 住みよい所にするだけ

本縣濱通りに於ける商工業の中心地として將來の大發展を豫想される平町の都市計畫は膨張に拍車を添へ住みよき都市となす爲めで同町民には勿論附近からも歡迎される筈のものと見られてゐるに對し內郷村小島部落では村議加藤丈夫氏等の主唱により何故にか反對の聲を煽つてゐるので平町の識者から奇異の感をもたれてゐるが過般その反對理由の一つとして上げら[illegible]市となれば擔税額が高くなると云はれるものは其の事實ありとしても一部富豪に限るもので一般には其の影響の尠しきものあると考ふることは誤りで尙ほ都市計畫は行政區劃の變更(分離とか合併)とは別ものであつて直ちに税金云々は飛んでもない間違ひでないかと云はれてゐる

平及び付近の人口增加

平の密度は五百八坪

平町に於ける現在人口は二万七千八百で去る大正九年以來の增加率を上ぐれば

大正九年二〇一七五　同十四年二二四七八　昭和五年二四九九九　同七年二七七四〇

の累進を示してゐる現人口を同町の全面積百二十七万五百坪に割當てる使用面積一人當(人口密度)は五百八坪で隣接內郷村の人口增加が丁度同町に相並んでゐるが之れ等隣接地の人口增加を示せば左記の如くである

內郷村　大正九年二〇一七四　同十四年二三七〇五　昭和五年二七三二三　同七年二七三三六

神谷村　大正九年三二六七　同十四年三三七一　昭和五年三四八一　同七年三三七五

飯野村　大正九年二八三〇　同十四年二八八一　昭和五年三〇一六　同七年三〇七四

平窪村　大正九年二九五〇　同十四年二〇二二　昭和五年三〇八一　同七年三一二四

好間村　大正九年一八六二四　同十四年一〇三五四　昭和五年一一六三七　同七年一一六六五(以上)

心身の修養鍛練に[illegible]

平第三校の强行軍

今月中全生徒に行はれる 興味視される前年との比カク

平第三小學校の体育部では近く全生徒の强行軍を催される筈だが右は兒童の全身体の諸機能を高め持久力を養ひ强健なる脚力を修養練磨すると共に剛健なる精神を養ふのが目的で昨年も一月中に之れを行ひ其の記錄

六年男(夏井小學校)一時十分　同女(同)一時卅四分
五年男(大國魂神社)一時三分　同女(同)一時二十七分
四年男(如來寺)一時三分　同女(同)一時十三分
三年男(專稱寺)一時九分　同女(同)一時十分
二年男女(北白土落合橋)四十七分
一年男女(白土八幡神社)三十四分

を示したが本年は如何なる成績を上げるか軍の總務は赤津校長、審判及び計時は新家首訓導これに當り各指揮員の受席持教師等にも非常な意氣で施行の日をまたれてゐる

波亂を豫想された

濱木炭の總會終了

新豫算は原案可決、役員選擧 は投票を省略して會長再選

濱三郡木炭同業組合に於ける第三日目の昨二十三日總會は昨報の如く獵役に猛烈な運動あるため險惡な空氣を包んで開會午後一時半に延び最初九年度豫算九千七百九十三圓の付議に當り二、三議員に減額修正の意見ありたるも生產に對する諸種有益な事業を遂行するには原案を當然とするもの多く一錢の修正もなく滿場一致で原案可決され組合費の賦課徵收も從來に於ける一名一圓を移出業者二圓、販賣業者一圓、生產者五十錢の年負擔及び荷票三厘（從來の二厘を一厘値上げ）何れも異議なく決定したが愈よ午後四時近くの役員選擧となりて險惡な空氣を緩和するため暫時休議の後再會投票を省略して委員の詮衡を可となす動議を燕し各郡二名づゝ

澤田源次(田人)北郷廣作(勿來)根本一郎(廣野)渡邊綠(浪江)折笠宗義(原)村田松之助(小高)

六氏による詮衡の結果組合長に早川清久(再選)氏を推し滿場一致の同意ありたるに次へで早川組合長から左記副組合長その他指命を以て決せられ午後五時午閉會直ちに平町谷口樓に新年宴會を催して散會した今回の獵役運動は同會創立以來曾てなかつた猛烈なものと唱ひられてゐる

副組合長(第一部長)石城香取吉藏(植田)(第二部長)双葉西彌助(浪江)(第三部長)相馬鹽谷雄周(原)

評議員石城綠川澄之助(田人)狩谷佐一(平)松本豊松(川前)双葉今野昇(津島)松本正(木戶)相馬古內龜太郎(小高)佐藤丑次郎(中村)

縣木炭聯合會代表員石城菊地壽七(川前)双葉大越三吉(廣野)植田銀之助(大野)相馬永谷清五郎(中村)全國薪炭商組合聯合會代表員草野米彌(石城郡赤井)志賀嘉吉(相馬郡原町)　以上

代議員選擧

來二月一日各郡で 定員は卅二名

濱通り木炭同業の役員選擧は別項の如く曾てない競爭を呈したが委員の詮衡で無事終了を告げた評議員七名は從來の十六名を昨年の總會に於て定欵を變更し減員されたもので尙ほ來る二月一日各支部に於て投票を行はれる代議員改選も相當の競爭あるを豫想されてゐるが同代議員も定欵の變更により從來の八十名を三十二名に減員され各郡の定員は左記の如くである因に有權者は二千二百名であると

石城十二名　相馬十名　双葉十名　(以上)

關彰氏寄付

無名氏からも一圓

平町一丁目の油商關彰氏は舊年末に於て極貧者に恵まれる樣昨二十二日平署人事相談所へ金二十圓を寄附されたが尙ほ當日同署へ無名氏から金一圓を添へ惱める人を救ふ一部への手紙が届いた

植田水電社長恐カツ事件公判

石城郡植田水力電氣會社々長金成遡氏を恐喝した平町長橋町正木島太郎(三〇)同町驛前新道通り元日本國民同盟支部長松本蒲之亟(三九)石城郡內郷村大字綴細引司馬之助(四三)三名にかゝる同事件の公判は來二月八日平支部公廷に於て開かれると

産業方面

堆肥施用上 輕視され易き點に就て

（一）農試場　内山生

堆肥生産額の最近の狀勢を通觀するに進歩の跡目ざましく遂年增加の傾にあり、現今の如く急迫せる農村經濟的事情に於て、且つまた今日の如く金肥偏重の施肥傾向の下にありては誠に喜ばしき現象にして農村の經營改善の方策として極めて理想的にして而かも効果歴然たる良策なること又疑ひを容るゝ餘地なし、

而して此の堆肥の增産は農村努力の結晶であり、勤勞の賜ものにして之れが生産には實に測知し難き程の精勵を必要とするものである、斯の如く異常なる勤勞によりて初めて生産せらるゝ堆肥にして而かも生産數量に限度ありて如何に指導奬勵の任に當るものゝ懸命の喧傳力あるも又農家當業者の必死の奮勵によると雖も無限の增産を期待し得ざるものなり、

本縣に於ける總生産額は總耕地面積に對し平均反當百貫を出づるに至らず、縣當局に於ての增産目標にして尙ほ且つ反當二百五十貫乃至三百貫に止まる、

然るに年々土壤中より減損さるゝ土壤腐植の量は西ヶ原農事試驗場の如き腐植に富み且つ粘質水田土壤に於て反當一八貫と算され從つて有機物の分解の良好なる砂質土壤の場合は更に多量にして反當三〇貫前後と見るべく又畑地は水田に比して更に腐植の減損大なるがため埴壤土及び壤土は反當三十貫と見るべく砂質土壤の場合は四十貫を超ゆるものと考へられるのを至當とする、

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社

特約販賣　屋間油　關内油店　電話長16　平城磐

支店　郡山市驛前通　電話長八二三

支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三

油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

看護婦　平看護婦會　電話三〇七

防寒メリヤス

・專賣特許毛メリヤス・

防虫加工純毛メリヤス……三圓・三圓五十錢
防縮加工純毛メリヤス……二圓五十錢・三圓

防虫加工…夏季ノ保存ニナフタリン彰腦イラヌ絶對虫ノ喰ハヌ特許品

防縮加工…御無理ナオ洗濯ニモ絶對チヾマラヌ特許純毛メリヤス製品

・御婦人向、オ子サン向實用防寒メリヤス毛製品・

ヤルツ　平四　電一四〇

産科　婦人科　院長　木村寅次郎

外科　醫學博士　内木宗八

藥局　藥劑師　玄蕃彌一

平町新川町九一

入院隨意　病室完備　木村病院　電話一六四番

福島縣平町十五丁目廿六

常磐モーリス商工助成株式會社　電話四六番　振替東京六二九五一番

株主の幸福

一、年四分の報賞金を差上げます（他に利益配當）
一、一世帶貳千圓迄御貸付致します（株券の倍額）
一、御株券不用の場合は證券會社でお引受致し升
一、御貸付もお返濟も株主本意に御取扱致します
一、法律經濟の御相談は無料でお引受け致します

◎本店同樣營業を開始いたしました
◎御利用下さい

内郷出張所　内郷綴三
平潟出張所　平潟本町

内科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

平町田町　高久病院　電話五一三番　院長　醫學士　高久忠

安價で効果的な　天然加里肥

最も適應する作物！

蔬菜　馬齢薯　里芋　しやうが類

◎茄果類ではトマト　茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を興へ落果を防ぎます

天然加里肥は酸性でないから

◎如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません

一俵　參拾錢（大量取引は特に割引致します）

製造販賣　金成國雅　平町鎌田　電話六八八番

〝貨物自動車（トラック）〟の御用命に應じます

洋式宴會の仕出し

五人樣以上の御注文にはボーイもコックも出張しまして弊店へ御來店御會食と何等變りなくサービス致します

出前は迅速に

平常の一品料理の出前は遠近に拘はらず迅速に御届け致します、ドーゾ御贔負を……

美味で…　評判の…　イワキ　サロン　平田町　電話三五二番

入院應需　明雲堂眼科醫院　平驛前　電六六九番

◎自炊の便あり◎

スペインG・H・N元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒　一・一〇

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

（電3）　西村屋藥舖　（平2）

貸手車

新規物を格安にお讓も致します

半谷　平町大町若松醫院隣

家政婦派出

御手不足な御家庭に家政婦を派出致します

本會は　お互に働きませうと云ふ健氣な婦人同志が相寄つて皆樣の御便宜を勤めますために出來た團體です

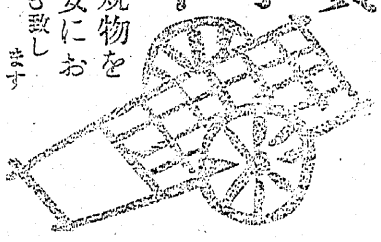
料金は御面談の上お望みに添ふ樣御經濟向きに御相談致します

平町紺町町二　電話〔呼〕六五二　上原家政婦會（産婆）上原通子

・派出多忙に付會員募集・

東神火災保險株式會社　東京動産火災保險株式會社　横濱生命保險株式會社　磐城代理店

河田鐵工場　河田梅吉

營業所　福島縣平町白銀町一　電話三二九番　二九五番

本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目